

第2回吉井地域審議会

第5次総合計画前期実施計画に係る質疑

事業名	No.	質疑	回答
吉井地域総合福祉センター建設事業	1	総合福祉センターの建設事業の説明のなかで、埋蔵文化財の遺構が発見されたので平成23年度に調査をするという説明があったが、どこに何があったのか、また、何時ごろのものか、分かっている範囲で教えていただきたい。	こはぎの建物の前、真中から西側10mくらいの部分、そこに柱と見られる部分の跡が一つ、ほかに田あるいは畑の古い堀の跡があったが、幅1.5メートルしか掘っていないので、平成23年度に調査をしたい。 学校があった関係で建物に近い方は、ゴミを埋めたのか、火事の際の残骸を埋めたのか、かなり壊されていて部分的にしか出なかった。また、「こはぎ」の建物から南側の「児童デイ」の建物の近くを掘ってみたが、そちらからは特になにも出なかった。年代的にはいろいろあり、出てきた破片等から平安時代くらいから江戸時代くらいのものがいくつか出ている。
吉井地域活動支援センター・重度心身障害者デイサービスセンター(仮称)建設事業	1	事業全体は順調に進んでいるが、運営主体、事業主体はどこになるのかお聞きしたい。従来どおり社会福祉協議会となるのか、独立採算性を目指しておこなうのか、平成24年度から体制を整えていかなければならないと思うが、どのような考え方をすればよいか伺いたい。	新しい障害者施設の今後の運営の主体については、今後支所及び地元の関係者の方々と協議をし、決めていくことになる。
	2	設計図の検討の仲間に入り、10月末に建物の設計図が一応固まったが、建物の材質について、鉄筋を主体としたものなのか、木造を主体としたものなのか伺いたい。	現在、設計事務所、使用する人にとって優しく、また基本構想の中には地場産材の使用を考慮することとなっていたため、建設費等も含めて比較設計をして検討するというところで作業をしている。検討結果が出た段階で、そういった内容について関係者に説明をしたいということで準備を進めている。
多胡郡建郡1300年記念事業	1	市制110周年記念事業として実施されるということで、著名な先生方をシンポジウムの登壇者として依頼できたとのことで、かなり専門的なシンポジウムになるのではと思っているが、音楽センターにどのくらいの参加者があるのか心配している。 音楽センターを会場としたシンポジウムに参加者が少ないと、登壇者にも失礼になってしまう。多胡碑の研究者や興味をもっている人がどのくらいいるのかわからないが、入場者数をどの程度になると思われるのかお聞きしたい。	シンポジウムは音楽センターで行うが、音楽センターには1,800席程度入場できる。専門的・学術的すぎる内容だと、1,000人の参加者を集めることも難しいが、登壇者と打合せを行ったところ、一般の市民を対象にわかりやすい内容で行うということを了承いただいた。 より多くの参加者があるよう、市を挙げてやっていただきたいという登壇者の要望もあったので、今後PR活動を推進していきたい。

事業名	No.	質疑	回答
多胡郡建郡1300年記念事業	2	この事業の実施を通して「特別史跡」の真の意義というものを周知徹底してほしい。国宝のほうが「特別史跡」より上位概念であるという誤解が一般的にあるようだが、「特別史跡」と「国宝」は分野が違っただけで、国宝と同一のものであって、稀少性からいえば、「特別史跡」のほうが圧倒的に数は少ない。そこで、「特別史跡」の真の意義というものを、吉井地区住民に、そして市民に周知徹底していただくようお願いしたい。	「特別史跡」と「国宝」の関係については、「特別史跡」が高崎に3か所、金井沢碑、山の上碑、多胡碑である。「特別史跡」が3か所もある市町村は、全国に5市町村しかないため、このことを全国的にPRしていきたい。 また、登壇者の方には、シンポジウムの中で多胡碑の「特別史跡」としての価値を話していただけるものと期待している。
	3	吉井地域に住む幼稚園児とか子どもたちが、今回の記念事業に参加できるような企画があれば教えていただきたい。	今回の1300年記念事業では、幼稚園児等が参加するという具体的な事業は予定していない。
	4	22年度事業内容のなかで特別展の開催とあるが、この特別展は多胡碑記念館で行うのか、あるいは、中央の高崎市内の施設で行うのか伺いたい。	支所に1300年記念事業のポスターが掲示されているが、多胡碑記念館で来年2月5日から3月13日まで開催する予定である。
	5	23年度の事業計画に、シンポジウム報告書刊行というのがある。文化財保護関係事業や発掘調査も同じであると思うが、報告書が発行されると全部終わりにになってしまう。3年間で1300年記念事業は終わってしまうのか、それとも3年後どうなるのか。多胡碑のみならず、市の文化保護行政のはっきりとした方針があれば伺いたい。	1300年記念事業については、来年が1300年という特別な年になるので、21年度、22年度、23年度のなかで記念事業として現在進めているので、シンポジウムの報告書をもってこの記念事業については終了する。 多胡碑は周辺に郡衙跡があるのではないかとされているので、今後調査をしていくということで、文化財保護課としては進めていきたい。
吉井中央公園(仮称)整備事業	1	吉井中央公園構想について、住民アンケートが平成23年度に予定されているが、アンケート調査等を実施する場合は、後期実施計画になる新町公園構想も含めたアンケートにしていただきたい。 中央公園構想のためのアンケート等実施したが、結局だめだったということになり、見通しがつかないということが仮にあったとすれば、中央公園構想を後期へ送るためだけのアンケートになってしまう。そうした懸念があるので、住民アンケートを行う際には、新町公園構想との関連を絡め、住民が判断できるアンケートにしていただきたい。	公園を作っていく場合には、その場所についてのことも当然だが、地域全体の考え方というものもアンケートに入ってくるとされる。 新町公園事業も重点事業として入っているの、そういったものも含めてアンケートすることは自然な流れと思われ、どういった内容のアンケートを、どのように実施するか白紙の状態なので、いまここで簡単に答えることはできないので、ある程度まとまった段階で、報告をさせていただき、ご意見を伺いたい。

事業名	No.	質疑	回答
吉井中央公園(仮称)整備事業	2	<p>22年度の事業内容について、「事前調査検討(進入道路・農振農用地等)」とあるが、5.9haのうち農振農用地がどのくらいあるか伺いたい。</p> <p>また、23年度に「住民アンケート・地域審議会の意見等の調整及びまとめ」とあるが、前期の計画で決定しているので、住民アンケートを行うということは、中央公園整備事業のなかに住民の声、地域審議会の意見を取り入れるという解釈でよいか。</p>	<p>22年度の事業内容での進入道路及び農振農用地関係については、中央公園の整備箇所は、おおよそ下長根の地域ということで、現在、農政部、建設部と協議をして、5.9haをどのような形で取っていくかという検討を進めている状況であるためご理解いただきたい。</p> <p>また、23年度の住民アンケート、地域審議会の意見等については、アンケートをとった結果について地域審議会等に報告し、どのようなものを設置していくかという問題についても協議したいと考えている。</p>
森林広葉樹林化推進事業	1	<p>市有林の整備も必要だと思うが、「里山」の復活構想について考えていただきたい。山林が竹藪やつる草で荒れ果て、所有者も高齢化し手が入れられない状態になっているので、ボランティア等を募って、あまりお金のかからないやり方でなにかできる方法を考えていただきたい。</p> <p>近くの山が荒れ果ててしまと、猪や熊が出没するようになり、愛郷心の喪失に向かうことにもなりかねないので、里山の整備をお願いしたい。</p>	<p>質問のとおり、里山が荒れてきているのが現状ではあるが、岩平地区では地域ぐるみで里山の復活ということに実際に活動されており、そのような活動を推進していきたいと考えている。</p>
水道水安定供給構想推進事業	1	<p>南陽台の水道管の清掃を行ったと聞いたが、どのような方法で行ったのか。また、合併後、水をおいしくするための活動や事業等が進んでいるとういことであれば教えてほしい。</p>	<p>今年の5月から8月上旬の間、南陽台地区を9区画に分け、水道管洗浄を実施し水質の向上に努める作業を行った。</p> <p>また、合併して水質の向上をはかるための事業をしているか、ということについては、ハード事業としては石綿セメント管の布設替を実施しており、ソフト事業としては吉井地域を含め、より一層の水質の向上についてどのように進めたらよいか現在検討しているところである。</p>
	2	<p>南陽台では、茶色の水が流れたりとか、異臭がしたりということが、18年前くらいからあったが、議員の要望で、定期的に給水塔も含めた水道管の清掃をしてもらい、だいぶ水質がよくなったという話を聞いている。</p> <p>高崎と合併し、よくなったというご意見があったが、実際は住民からの苦情により清掃等が行われるようになったと思っている。</p>	<p>南陽台で9回実施した水道管の清掃は、吉井町時代には行ったことのない作業であり、合併後、調査をして初めて行った。また、給水塔の清掃については、吉井町時代から清掃していた。給水塔と水道管の清掃とは別のことなので分けて考えていただきたい。</p> <p>吉井地域については、水質は厚生労働省の水質基準をすべてクリアしている。また、「うまい」「まずい」の判断は非常に難しい。</p> <p>吉井地域の場合は多少原水水質が悪くても、活性炭を使用し、国が定める高度浄水処理を行っているので、水質とすれば、よいまの飲料水であると考えている。</p>

事業名	No.	質疑	回答
水道水安定供給構想推進事業			<p>(前頁の続き)</p> <p>ただ、住民の方がそのような意識を持っているとすれば、吉井上下水道事務所とも協議をし、管の清掃や浄水場の処理方法等について検討し、安全な水を安定供給したい。</p>

その他の質疑

質問内容	No.	質疑	回答
21年度決算の概要について	1	牛伏ドリームセンターはこの表をみると、平成21年度は黒字ということであるが、平成20年度までは赤字と聞いていたので、平成21年度は黒字になったという解釈でよいか。	<p>自治体の決算については、歳入を歳出が上回ることは通常考えられない。牛伏ドリームセンターの歳入歳出の決算の数字を見ると、一般会計からの繰入金を手当てしており、旧吉井町にあっても、ドリームセンターは、一般会計からの繰入金を手当てしていた。</p> <p>決算上は毎年黒字という形になっているが、一般会計で負担しているのが黒字になっているということをご理解いただきたい。</p>
	2	説明のなかで21年度の歳出で構成比13.8パーセントを占めている補助費等というのがあるが、これは20年度には149億4,004万円から21年度には212億3,810万円、42.2%増えたとうことは特別なことがあって増えたのだと思うが説明していただきたい。	<p>性質別の歳出の補助費等の大幅な増額の理由は、総務費が構成比で大きくのびているということを申し上げたように、ここでは金額では50億あまりの定額給付金の給付があり、これが補助費等に分類されているため21年度に補助費等が大幅に伸びた理由である。</p>
	3	一般会計の予算額1,595億5,838万円という、この予算額というのは歳入に対しての予算額なのか歳出に対しての予算額なのか。	<p>予算の場合は歳入と歳出同額で予算は作成するので、歳入歳出はイコールである。</p>